

始良市複合新庁舎建設検討委員会 会議録

会 議 名	第 3 回始良市複合新庁舎建設検討委員会	
日 時	平成29年 7 月 7 日（金）午後 2 時～午後 4 時 5 分	
会 場	始良市役所 2 号館 3 階 第 1 ～第 3 委員会室	
出 席 者	委 員	山尾委員長、有馬(純)委員、野口委員、今村委員、有村委員、岩下委員、有馬(京)委員、竹田委員、徳永委員、湯之原委員、和田委員、森川委員、湯元委員、柊原委員、森田委員
	市職員等	事務局：総務部行政管理課 広報担当：総務部秘書広報課 建設コンサルタント：(株)山下設計九州支社 (報道：3 社、傍聴：なし)
会 次 第	【第 3 回始良市複合新庁舎建設検討委員会】 1 開会 2 委員長あいさつ 3 第 3 回委員会の会議録署名委員の指名 4 議題 (1) 事務所設置方式について (2) 基本的な考え方について (3) 本庁舎の建設場所について (4) 建替えた場合と耐震補強する場合の財政負担の比較 5 その他	
議 題	(1) 事務所設置方式について (2) 基本的な考え方について (3) 本庁舎の建設場所について (4) 建替えた場合と耐震補強する場合の財政負担の比較	
会 議 結 果 要 旨	(1) 事務所設置方式について 次回の検討委員会において、加治木支所、蒲生支所の具体の話をしながら、再度、本庁方式への移行について審議する。 (2) 基本的な考え方について 事務局案で概ね了承するが、文言等を付記する。 (3) 本庁舎の建設場所について 現在の始良本庁舎敷地での建替えについて了承する。 (4) 建替えた場合と耐震補強する場合の財政負担の比較	

	事務局提示の資料で了とする。
会 議 経 過 要 旨	<p>(事務局)</p> <p>第3回始良市複合新庁舎建設検討委員会を開会する。</p> <p>委員15名のうち15名出席であり、始良市複合新庁舎建設検討委員会条例第6条第2項の規定に基づき委員会の成立を確認する。</p> <p>(議長)</p> <p>前回、複合新庁舎建設の必要性について承認した。今回は、基本構想の具体について審議する。傍聴人として報道関係者による取材の希望があるが、公開してよいか。</p> <p>(委員)</p> <p>異議なし。</p> <p>(議長)</p> <p>次に、今回の会議録署名委員に有村委員を指名する。</p> <p>(委員)</p> <p>了承。</p>
	議題(1) 事務所設置方式について
	<p>(議長)</p> <p>会次第4の(1)事務所設置方式について事務局による提案を求める。</p> <p>(事務局)</p> <p>資料1により以下の内容について提案する。</p> <p>○ 様々な行政課題、新たな行政需要に対応するため、行政組織及び行政機能を集約・整理（一部分庁方式から本庁方式への移行）し、更に質の高い市民サービスの提供に向け、窓口機能、地域振興機能等を充実する。</p> <p>(議長)</p> <p>事務局提案の内容について意見はあるか。</p> <p>(委員)</p> <p>議会代表委員の発言が多すぎるとの意見があるが、他の委員から意見が出ないようであることから発言する。</p> <p>本庁方式と分庁方式については慎重に対処していかなければならない。合併協議会において総合支所方式を決定する際には、総合支所方式を堅持する旨の一文を入れて欲しいという要望があった。周辺地域の住民にとっては、確たる施設がなくなることについて心配があるのではないかと。決して反対ではないが、慎重に議論を進めるべきではないかと。</p>

	<p>(議長)</p> <p>他に意見はあるか。</p> <p>(委員)</p> <p>資料 1 の 3 ページについて確認したい。本庁方式と分庁方式の比較について、もう少し詳しく具体的な説明を求めたい。なぜならば、窓口の利便性の項目で、本庁方式が○で分庁方式が×となっており、本庁方式の方が優れているという評価となっている。しかし、仮に本庁方式が採用された場合でも、支所には窓口があり、そこも充実させなければならない中で×という評価はどのような理由からか。また、事務の効率化の項目も本庁方式が○、分庁方式が×となっている。支所にある教育部と農林水産部、農業委員会を一緒にすることが、どのような理由で効率化につながるのか。さらに、人員配置の項目についても分庁方式が△となっているが、本庁方式が優れている根拠について説明を求めたい。具体的に説明することで、住民から聞かれた場合には理解しやすい説明ができるのではないかと。</p> <p>また、資料 1 の 9 ページで支所の窓口のイメージがあるが、現在の窓口と比較して機能が充実するということなのか、併せて説明を求める。</p> <p>(議長)</p> <p>今の意見について、事務局の説明を求める。</p> <p>(事務局)</p> <p>窓口の利便性の比較については、一部分庁方式であることから、各種申請書等を支所で受付けたものを本庁で事務処理している。支所は申請受付事務が多岐に渡ることから、申請内容等について本庁に問合せを確認し、申請書の許認可について本庁とのやりとりが生じる可能性があること等について申請者の理解を得た上で受付けているのが現状である。</p> <p>事務の効率化については、蒲生庁舎を本庁とする農林水産部や加治木庁舎を本庁とする教育部は、全体会議が始良庁舎で行われる場合、片道 15 分程度の移動を要し、時間的な無駄がある。電話で済む用件もあれば、一堂に会して意思統一を図る必要がある場合もあり、効率的ではない。</p> <p>人員については、各支所とも業務、申請受付等に必要な人員を配置しているが、本庁と支所で同じ業務を割り振っていることから、人員削減の観点からみて集約を図りたいと考えている。また、本庁と支所で重複している業務について整合を図りたい。</p> <p>資料 1 の 9 ページにある支所機能については、各種届出や証</p>
--	---

	<p>明書の発行等を挙げているが、これらのサービスについては現在でも行われているものであり、サービスの低下を招くことはないものとして提示している。</p> <p>資料１の３ページの比較表は、分庁方式から本庁方式に移行する場合のものである。本庁の方が支所より優れているという発言があったが、本庁と支所との比較ではなく、本庁方式と分庁方式の比較である。現在の支所にある窓口業務、地域振興業務、各種相談窓口、証明書の発行等は総合支所方式で対応するものである。あくまでも、教育部と農林水産部を本庁へ集約することを提案するものである。</p> <p>(委員)</p> <p>本庁方式が○で、分庁方式が×と極端な評価となっているが、本庁方式が○で分庁方式が△でも良いのではないかとの思いから、評価の根拠について質問した。</p> <p>(議長)</p> <p>他に意見はあるか。</p> <p>(委員)</p> <p>資料１の９ページについて、本庁に農林水産部と教育部を集約した場合の本庁及び支所の人数や現在の職員の人数に関する説明が必要である。また、両総合支所の機能が示されており、各種届出や相談、証明書の発行等の業務が挙げられているが、現在の各支所の年間来庁者数を示してはどうか。窓口業務の充実化を図るために民間委託をするのか等について言及されていない状況では、どのような議論をすべきかわからない。さらに、来庁者数だけではなく、タクシー等の停留所や職員の駐車場等の問題も関係してくる。来庁者数、利用者数等に関する資料はあるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>現庁舎の概要は基本構想（素案）資料編の１ページにある。現在の始良庁舎本館の職員数は１２６人である。また、本庁方式とした場合の想定職員数は基本構想（素案）の１８ページにあり、５３５人である。各総合支所の来庁者数は次回提示する。</p> <p>(委員)</p> <p>本庁は既存の場所でもよいと思うが、支所がどの程度の建物になるのか、職員数がどれくらいになるかということは地域住民の関心事である。</p> <p>(議長)</p> <p>他に意見はあるか。</p>
--	---

(委員)

今回の議題は、新庁舎建設は決まったが、現在、分庁方式となっている教育部と農林水産部を本庁にまとめるかというものである。ここ数日の豪雨により、お気の毒であるが九州北部地方において災害が発生している。平時においては、本庁から各支所は車で 10 分程度の距離なので、すぐに対応ができると思われる。しかし、緊急時に本庁で判断したことや、教育部においては小中学校等子ども達への対応、農林水産部においては田畑への被害や土砂災害等の状況をどのように伝達するのか。やはり、ひとつの建物にいる方が、緊急時には大きな力を発揮するのではないかと、ここ数日の九州北部豪雨をみて感じたところである。

もし、本庁へ集約した方がよいとなった場合、支所の機能について、当委員会、事務局共に意見を出し合って、住民の求めるものが実現できるように努力していきたい。しっかりと支所のあり方について議論を積み重ねていきたいと考える。

(議長)

今の意見について、特に総合支所に関する事務局の考えについて、説明を求める。

(事務局)

総合支所の考え方について、本庁方式になれば支所になるかもしれないが、資料 1 の 9 ページに示すように、地域住民に密接に関わる業務は継続し、各種証明書発行等については従来どおりとしたい。

本庁方式にした場合のメリット・デメリットを含めて、事務所設置方式に関する資料を示したところである。農林水産部長から、本庁での会議が 1 日に 3 回あり、1 回の往復に約 30 分かかることから、結果として、移動に 1 日約 90 分費やしたとの話しがあった。市としての意思決定をする際は、必ず会議を開くため、本庁方式にした場合には、このような移動時間がなくなることはメリットである。

先ほど、どれくらいの来庁者があるかとの質問があったが、税務課の業務内容に限定すれば、その割合は、蒲生税務係を 1 とすると、加治木税務係が 3、本庁税務課は 15 以上となる。つまり、それだけ多くの方が本庁に来ていることが分かる。なぜかといえば、本庁は、その他の申請に関する対応ができることにある。例えば、税務課では、地籍図の原図は全て本庁に集約しており、支所は FAX 対応となっている。

	<p>現在提示している基本構想（素案）ありきの中での議論ではなく、忌憚なき意見をいただきながら答申を受けたいと考える。</p> <p>（議長）</p> <p>蒲生、加治木の両支所について、当委員会で議論するものと考えてよいか。</p> <p>（事務局）</p> <p>よい。</p> <p>（議長）</p> <p>蒲生、加治木の両支所について、今後検討していくこととする。他に意見はあるか。</p> <p>（委員）</p> <p>先ほど、来庁者数や庁舎別の利用割合に関する意見があったが、場合によっては、1年のうちに1度も利用しない方もいる。資料1の本庁方式・分庁方式の比較について△や×等の微妙な評価の違いはあるものの、災害時や会議の参集時間に要する無駄が無くなり、また、利便性の点からも本庁方式とした場合のメリットは大きいと思われる。</p> <p>総合的判断として、本庁方式への移行という議論と並行して、蒲生、加治木両支所については、複合新庁舎として整備するという展望を持ちながら、今は、年に何回かしか使わないが、複合化することによって、加治木、蒲生の市民がもっとよりよく使える場所ができてくるのであれば、本庁方式にする意味合いが高くなるのではないか。</p> <p>現実的に必要な窓口、今現在置かれているような市民、税務、福祉等について対応できる者が駐在し、市民が利用できる場となるのであれば、本庁方式にする意味がある。</p> <p>（委員）</p> <p>事務所設置方式の議論については、総論と各論がある。分庁方式から本庁方式へと移行することで、支所周辺の疎外感が生まれてくるのではないか。当委員会で、本庁方式、分庁方式について決定するとしたとき、市議会の特別委員会においても様々な意見が出たが、最終的にどのようにして事務所設置方式を決定付けていくものか。事務局からの提案として提供される資料をもとに検討していくが、この資料で十分なのか、住民の声はどこで反映されていくのか等、事務所設置方式を決定付けていく過程で、多くの情報が必要である。</p> <p>全国的にみれば、始良市のようなコンパクトな3町合併は少なく、立地的には恵まれているといえる。敢えて、ここで本庁</p>
--	--

方式としなければならないのか、住民もこのように思うのではないか。事務所設置方式と庁舎建設を同じ枠組みで捉えて検討していくことでよいのか。財政的なメリットやデメリットや住民のメリットやデメリットを明らかにすべきである。例えば、資料 1 の 5 ページの職員数の推移を見ると、グラフとしては相当な職員数を削減しているように見えるが、実は 1 割程度しか削減されていない。グラフの作り方により誘導的に見えるといわれても仕方がない。数字のとおりグラフを作成すべきである。また、権限移譲により許認可事務が増加しているとあるが、市が発注する業務委託も増えている。このような諸問題を掘り下げて、職員不足の中、人員削減をしなければならないのか、という議論も含めて検討しなければならない、庁舎建設の検討とは別の問題ではないか。庁舎建設に際して人件費の削減等により無駄をなくすことと結びつくとも思われるが、庁舎建設のために誘導的に資料を集めているとも受け取れる。事務所設置方式も含めた判断材料として、このような諸問題の詳細について実態がわかるような資料の作成を求める。

(議長)

問題提起として受けた。ある程度の内容の資料は提供を受けていると考える。また、定員削減については、他の委員会で議論された結果であることを前提とする。

他の委員の意見を伺いたい。

(委員)

先ほどの意見の中に疎外感という言葉があった。ソフト面からみて、とても重要なことだと考える。市民の声というのもあるが、他の委員も気づかないような意見があるのではないかとと思われることから、議会の特別委員会の中で出た内容について、お聞かせいただけないか。

(委員)

複合新庁舎建設に関する検討は、始良市議会でも取り組むべきものと考えている。したがって、昨日の最終本会議において、複合新庁舎建設等調査特別委員会を設置し、第 1 回の会合を開いた。委員会の進め方も明確にならない中であつたが、新庁舎の建設を検討する過程で市民の方々の意見が反映されていくのかという意見や、新庁舎建設や本庁舎位置の決定について、地方自治体を二分する様な規模の話になる例もあること等の意見があった。また、検討に際し、余りにも簡単に話しが進むことに危惧するとの意見もあった。さらに、検討に時間がない中で

	<p>はあるが、市民の声を聴くためのアンケート調査を実施すべきではないかとの意見もあった。</p> <p>先ほど、事務局から分庁方式による移動時間の無駄について説明があったが、蒲生庁舎には農林水産部があり、地元の農家にとっては非常に便利な場所にあり、仕事着のまま気楽に訪れることができるが、本庁に集約されたら行きづらくなるのではないだろうか。会議等による移動時間の無駄については、あくまでも職員目線であって、農家（住民）目線では、農林水産部は蒲生庁舎にあった利便性が高いとの意見があった。</p> <p>（議長）</p> <p>議会においても並行して議論されているということである。当委員会は次回で中間報告し、市民説明会と市民アンケートを行う。それに向けた基本方針について審議するものであり、結論を出す場ではない。委員長としては、当委員会としての方向付けに関して議論していただきたいと考えている。</p> <p>（委員）</p> <p>特別委員会における意見をお伺いした。個人的な感想かもしれないが、本庁方式になるということに対して暗いイメージ、悲壮感が漂っているが、そういう面ばかりではないのではないか。</p> <p>今まで以上に活用しやすい庁舎として、市民ニーズに最小限度こたえられる窓口は残り、決して支所がなくなる訳ではない。先ほど、農林水産部が蒲生庁舎にあり、利便性が高いとの意見が出たが、加治木地区の農家の方からすれば遠く感じるのではないか。蒲生地区、加治木地区の中間地点にあるほうが、利便性が高いのではないだろうか。</p> <p>いろいろな場面でプラスとマイナスがあるが、総合的な判断ということを検討しないといけない。少なくとも悲壮感のある、暗いイメージではなく、将来の展望を持って、もっと明るいイメージ、より活性化していく、便利なものができていくという観点で議論できればと思う。</p> <p>（委員）</p> <p>様々な意見が出たことに対して事務局の意見を求める。</p> <p>（議長）</p> <p>事務局から、意見や説明はあるか。</p> <p>（事務局）</p> <p>いろいろな意見をいただいたので、順を追って説明する。</p> <p>本委員会のあり方については、第1回検討委員会で説明した</p>
--	---

	<p>とおり、複合新庁舎建設に関する諮問について答申いただくことが最終目標である。答申を受けて、最終的に市長が決定し、建設計画を提案するものである。検討委員会では、方向性、提案、附帯意見等をつけて、答申していただきたい。</p> <p>市民の声については、検討委員会において、ある程度方向性が決まった段階で中間報告を受け、8月末から市民説明会を開催する予定である。また、9月には市民アンケートも実施予定である。最終的には1月にパブリックコメントを実施し、全市民対象に意見募集をかける。これらにより、市民意見を反映させていきたいと考えている。</p> <p>財政的な判断については、合併推進債の活用が有利であると考えている。活用期限が平成36年度までであり、複合新庁舎の建設費に係る費用について活用が可能であることから、当初建設費として見込んだ60億円のうち、約3分の1にあたる約20億円が国から補填される。平成36年度を過ぎると財政措置が全くなり、約20億円がすべて市民の負担となることから、このことを避けるべくこの計画を早めている状況にある。本庁だけではなく、支所も、さらには取り壊しまで含めた全ての工事を、平成36年度までに完了したいと考えているところである。</p> <p>(議長)</p> <p>いろいろな意見が出たが、事務局提案の事務所設置方式は行政機能の話である。総合支所については、今後、どのような住民サービスを行うか、行政機能を残すかについて議論していくものである。</p> <p>事務局の提案は、現在、教育部、農林水産部の本庁が支所にあり一部分庁方式となっている行政組織について、新庁舎の建設に際して本庁方式として整理するものであると理解する。細部に関する検討は今後、委員の意見を受けながらブラッシュアップしていくものとして、当委員会の方向付けとして本庁方式へ移行することに異論はないか。賛成するものは挙手願いたい。</p> <p>(委員)</p> <p>反対というわけではないが、もう少し慎重に議論した上で結論付けたい。</p> <p>(議長)</p> <p>今回は行政機能の細部まで議論するわけではない。支所の窓口機能等がどのようなものであるか、このことについて市民が納得する説明ができるものであるのかについて危惧されているのではないかと。次回は、これまでの審議内容について中間報告</p>
--	--

	<p>としてまとめる予定である。次回の委員会で改めて説明を受け、更にそこで出た意見を反映させることを前提条件として、当委員会の事務所設置方式に関する審議をとりまとめた。</p> <p>(委員)</p> <p>今回の委員会で、初めて事務所設置方式について議論する。当該審議内容に関して、何ら議論を積み重ねておらず、議会としても、住民への周知をどうするのかということについて議論していない。議会に持ち帰っていない中で、賛成、反対をここでとるのか。支所については、これから具体について議論していくとはいえ、ここで事務所設置方式について決定したのでは、結論が早すぎるのではないか。</p> <p>(議長)</p> <p>では、どのような形で審議を進めていけばよいか。当委員会では、方向付けできないということでまとめた方がよいとの意見か。</p> <p>(委員)</p> <p>そうということである。</p> <p>(議長)</p> <p>方向付けできない理由としては、市民の声を確認していないからか。事務所設置方式に関する議論は、これまでに十分積み重ねられているものとして資料を見ていたが、そのあたりはどのようなになっているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>現在は、一部分庁方式としているが、合併時の資料をみれば、本来は本庁に機能集約すべきところであるが、全ての機能が入るための十分なスペースを有する建物がない、場所がないということで、本庁を旧始良町庁舎とし、加治木庁舎には、教育部、蒲生庁舎には農林水産部と農業委員会を設置していると認識している。合併当初から集約できればよかったが、場所の不足により一部分庁方式とした関係上、今回の庁舎建設に当たって、本来の姿に戻すという意味合いから本庁方式を提案している。</p> <p>一部分庁方式による弊害として、情報伝達、情報収集、意思決定に関して支障があるということで、こちらに集約したいと考えている。加治木庁舎であれば、教育部が移ったとしても総合支所として各種申請等、市民が使うサービス機能は全て残る。これから、多極ネットワーク型コンパクトシティを進めるに当たって、支所の利用頻度を向上させるために、他の公共施設等を集約していく。このためには、支所にどのような機能が求め</p>
--	---

	<p>られているのか、今後、意見を伺いたい。例えば、加治木庁舎は体育館、図書館、市民ホール、会議室等を集約する案がある。本庁方式としながらも支所の機能、その他の複合する機能については充実させるという考えにより提案するものである。</p> <p>(委員)</p> <p>市民サービス向上の施設であるのは当然のことである。行政のためだけにある施設ではなく、市民のための施設でもある必要がある。本庁方式で異論はないが、両支所の機能や整備計画について、もう少し明らかにしてもいいのではないか。なぜならば、加治木や蒲生の住民は商店街が衰退していくのではとの懸念があり、庁舎や公共施設がどうなっていくのかを心配しているからである。両支所の機能や整備計画について、ある程度の中身を示してはどうか。また、循環バスのダイヤ構成を変えること等も含めて説明しなければならない。いつでも、どこからでも、すべての人が気軽に市役所庁舎に行けるシステムを作ればよい。本庁舎の整備後、両支所もすぐに取り掛かるのであれば、両支所の機能や整備計画について、もう少し中身を明かしてはどうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>両支所の整備計画については、基本構想（素案）22 ページ、同資料編 40 ページに記載している。これは、公共施設再配置基本計画で検討されたもので、加治木庁舎については、体育館、集会所や周辺の福祉センター等の集約が示されている。蒲生庁舎については、蒲生公民館やふれあいセンター、高齢者福祉センターの集約を考えている。これ以外にも、集約、複合した方がよい施設や機能に関するご意見があれば伺いたいと考えている。また、バス等の交通体系については、施設概要が固まり次第、接続等を検討する。</p> <p>(委員)</p> <p>先ほど、当委員会の委員が事務所設置方式についてどれほど理解しているかとの発言があった。公共施設再配置検討委員会に参加していることから、このことについて少し知識があり、前向きな気持ちで審議に参加している。今ある物がなくなるといことは、気持ちの上では悲観的になるのは分かる。公共施設再配置検討委員会においても、やはり合併協議のときと同様に、蒲生が廃れるとか、加治木が寂しくなる等の意見があった。限られた財源の中で、できること、できないことはあると思うが、庁舎を将来にわたって使い続けてゆく若者やこれから産ま</p>
--	---

	<p>れてくる子供たちのことも考えて議論したい。具体的な提案が出来るならば、当委員会で蒲生庁舎、加治木庁舎の理想を語り、それが少しでも反映された支所になってほしい。本日出席の地域（校区コミュニティ協議会代表）の方々の声も伺いたい。</p> <p>（委員）</p> <p>5月26日の第1回検討委員会において、市長より「諮問にあたって」という話があった。始良市の目指す多極ネットワーク型コンパクトシティ構想として、公共施設を公共交通で接続し、立地適正化計画により都市機能誘導を図る点・線・面整備の内容であった。</p> <p>公共施設については、二人の委員から話があった。公共交通については、別途、公共交通会議が開かれている状況である。このように、公共施設や公共交通に関する委員会が開かれていることから、関連性のある他の委員会の話をいただければ、審議の参考になると思う。</p> <p>（議長）</p> <p>意見等も集約されない状況にある。次回の委員会において、加治木、蒲生両支所の話に触れながら、事務所設置方式について再度、議論したい。本日は、議題（1）事務所設置方式についての審議は保留とする。</p> <p>議題(2) 基本的な考え方について</p> <p>（議長）</p> <p>議題(2) 基本的な考え方について、具体的な建築計画をどのような考え方に基づいて進めていくかについて確認するものである。事務局の説明を求める。</p> <p>（事務局）</p> <p>基本構想（素案）（第1回検討委員会資料6）の11～12ページについて説明する。</p> <p>（議長）</p> <p>基本構想において、これから基本計画をまとめていくうえでのひとつの方針として提案を受けるものである。質問または意見があるか。</p> <p>（委員）</p> <p>全国的には、防災センターを単独で造っているケースが多い。災害、避難に関する政策が重要視されている中で、庁舎と防災拠点施設が機能を果たせるのか。防災拠点としてどのような内容を考えているか。</p> <p>（事務局）</p>
--	---

	<p>防災機能に関する現時点での構想では、30～50 人の担当者が一同に会する部屋がないことから、災害対策室を設置し、指揮命令の統一見解が図れるようにしたいと考えている。また、災害対策で使用する機器については、発電設備等の整備と共に、職員の詰所を検討している。また、2 階以上の階に、避難時に使用する毛布、食料等の備蓄品置き場の設置場所も検討する必要がある。今後、細かな機能等について検討していくものである。</p> <p>(議長)</p> <p>「基本的な考え方」については、図面を書くための基本的な考え方、設計条件等を示すものである。ここで出た意見を取りまとめ、最終的には計画に反映させていきたい。</p> <p>(委員)</p> <p>南九州市の計画書にある記述より引用する。基本構想（素案）12 ページの（6）機能性・効率性の高い施設の項目中に、適切な規模の執務空間、会議室等々あるが、ここに「子どもからお年寄りまで皆が集まって団欒できる、毎日行きたくなるような場所」や「各種団体が自由に利用できるスペース」等について具体的な記述をしてはどうか。さらに、新庁舎にコンビニ等という記述もある。検討してみてはどうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>意見のあった内容等について盛り込んで行きたいと考えている。庁舎としての機能意外にも、市民の皆さんの憩いの場や各種団体の交流・発表の場等の文言については付記していきたいと考えている。第 5 回の検討委員会で基本理念（基本方針の詳細）について協議する予定であり、そこで再度議論していただきたいと考えている。</p> <p>(議長)</p> <p>先ほどの意見等を盛り込みながら、第 5 回の検討委員会では、細部について議論し、基本的な考え方をブレークダウンしていくことを前提として、複合新庁舎整備の検討に当たっての基本的な考え方については、この内容でよいか。</p> <p>(委員)</p> <p>よい。</p>
	<p>議題(3) 本庁舎の建設場所について</p>
	<p>(議長)</p> <p>次に、庁舎の建設場所について事務局の説明を求める。</p> <p>(事務局)</p>

	<p>基本構想（素案）13 ページ及び資料 2 について説明し、建設候補地 3 か所について提案する。</p> <p>（議長）</p> <p>事務局からの提案について、質問や意見等はあるか。</p> <p>（委員）</p> <p>特になし。</p> <p>（議長）</p> <p>この後、3 か所の候補地を 1 か所に絞り込む提案があることから、質問等は一括で受けることとする。</p> <p>（事務局）</p> <p>基本構想（素案）16 ページ及び資料 3、資料 4 について説明し、本庁舎の建設場所として現在地が最適地であることについて提案する。</p> <p>（委員）</p> <p>提案のとおり現在地が最適地であると思われる。図書館駐車場敷地については、いずれ中央図書館も建替えることが想定され、市役所に図書館を併設した自治体もあることから、現在の図書館の敷地を一体的に庁舎敷地とする検討は行ったか。</p> <p>（事務局）</p> <p>図書館併設の検討については、中央図書館はまだ築後 20 年であり、中央図書館を解体し、庁舎と一体的に整備することについては検討していない。耐用年数が近い施設、または超過している施設について検討してきたことから、現在の中央図書館との複合化は検討していない。</p> <p>（委員）</p> <p>了解。</p> <p>（委員）</p> <p>駐車場の件で意見がある。市役所の利便性ということを考えたときに、複合庁舎となれば、そこで開催されるイベント等により来客が増え、その分駐車場が必要になる。霧島市役所の駐車場もあれだけの台数があるが、イベント時には満車となり駐車場に不足が生じる。現在地に建設した場合、駐車場に不足は生じないか。</p> <p>（事務局）</p> <p>駐車場問題については、建設に当たっての最重要項目である。建設場所についての方針が出てからの話であるが、構想としては、2 号館南側の来客用駐車場（約 100 台）を 3～4 階の立体駐車場として整備する必要性を感じている。来客用及び公用車</p>
--	--

	<p>用の駐車スペースが必要となるので、不足する場合は中央図書館駐車場を立体駐車場にする検討も必要と考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>多極ネットワーク型コンパクトシティの考え方について、始良本庁舎を中心として考えた場合、あまりにも敷地面積や道路等の周辺部が狭いように感じる。他の庁舎は、ここの5倍くらいの敷地面積で、周辺道路も整備され、使いやすい庁舎を計画している。高速道路や国道10号線等の幹線道路もあり、大型商業施設であるイオンタウンまで含めると、あまりにも狭い範囲に人が集まる施設を収めるのはどうなのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>多極ネットワーク型コンパクトシティと合わせて、都市計画マスタープラン、立地適正化計画についても検討を行っている。大型商業施設の立地により都市形態が変わっている。また、今の庁舎よりも複合新庁舎は規模が大きくなり、多くの市民の皆さんが来庁されることが予想される。駐車場、道路についても並行して計画を策定しないといけないと考えている。</p> <p>(議長)</p> <p>本庁舎の建設場所については、事務局の提案の現在の本庁舎敷地において建替えをするということによいか。</p> <p>(委員)</p> <p>異議なし。</p>
	<p>議題(4) 建替えた場合と耐震補強する場合の財政負担の比較</p> <p>(議長)</p> <p>議題(4)について、前回の委員会で指摘があった内容について資料があるので、事務局の説明を求める。</p> <p>(事務局)</p> <p>資料5について説明する。</p> <p>(議長)</p> <p>資料はこれでよいか。</p> <p>(委員)</p> <p>よい。</p> <p>(議長)</p> <p>本日の審議はこれで終了した。その他、意見等はあるか。</p> <p>(委員)</p> <p>第3回検討委員会で用いた資料について、前回の委員会での指摘事項が改善されていた。たくさんの資料を分かりやすく丁寧に説明されており、非常によいことである。</p>

	<p>公共施設は、エコの視点からエアコン温度も高めに設定されている。当委員会でもクールビズを推奨してはどうか。</p> <p>(議長)</p> <p>温度設定等は、市の取り組みのとおりでよい。また、クールビズにより各自対応されたい。資料については、市民への説明に必要であり、今後もより丁寧な資料作成をお願いしたいと考える。</p> <p>その他、事務局から連絡事項はあるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>次回、第4回検討委員会は、8月4日開催を予定している。都合はよいか。</p> <p>(委員)</p> <p>よい。</p> <p>(事務局)</p> <p>第4回検討委員会の審議事項は、中間報告のまとめを予定している。まずは、事務所設置方式について再度、審議していただき、その後、中間報告のまとめをしたいと考える。併せて、加治木、蒲生両支所の整備に関する基本構想について提示したい。また、市民アンケート、市民説明会の概要について報告したい。会議資料は、事前配布することとし、併せて、先進地視察の案内通知を送付する。</p> <p>(議長)</p> <p>第4回検討委員会は8月4日である。</p> <p>以上で、第3回始良市複合新庁舎建設検討委員会を終了する。</p>
その他特記事項	<p>次回の開催予定</p> <p>日時：平成29年8月4日（木） 午後2時から</p> <p>場所：始良市役所2号館3階第1～第3委員会室</p>
署 名 欄	<p><u>議長</u></p> <p><u>議長指名委員</u></p>